



水沢区公衆衛生組合連合会の千倉一郎氏に市長感謝状が贈られた

市は第1回市環境大会を11月11日、水沢地区センターで開催しました。市環境衛生大会とおうしゅう環境フォーラムを本年度から一つにし、住みよい生活環境の実現のために開催されたものです。

大会前半では清掃美化活動などに功績のあった4団体と27人を表彰し、後半ではNPO法人環境パートナーシップいわての坂下洋子氏が「ひとりひとりができること」まず、一歩への背中押し」と題して講演。出席者はまちづくりと環境への配慮について、気持ちを新たにしていました。

「テーマは「はじめの一歩 未来へつなぐ奥州」



太田住職による笑いあり涙ありの講演に聴衆は引き込まれた

市と市内医療介護関係者で組織する在宅医療介護連携推進協議会は11月2日、介護などが必要になっても自分らしく暮らすための準備や支援を学ぶ市民講演会を、市文化会館で開催しました。

市の取り組み状況の説明後、「いのちの作法」自分らしい生き方・逝き方」と題して西和賀町の太田宣承・真宗大谷派碧祥寺住職が講演。自らの経験を交え「良かったことも悪かったことも自分の人生にとって無駄じゃなかったと言うために年を取るのです」と約250人を前に説きました。

「自分の人生のエンディングを考える」

みずさわ 歌盛り上げる拍手と鐘の音 NHKのだ自慢

NHKのだ自慢（NHK盛岡放送局ほか主催）が11月5日、市文化会館（Zホール）で開催されました。Zホール開館25周年を記念するイベントで、観覧希望に12,000通以上、出場希望には900通以上の応募があり、市内外から多数の注目が集まりました。

250組が参加した前日の予選会を通過した20組が本選に出場し、自慢の歌声を披露。美しい衣装やユーモラスな振り付けの熱唱を受けて観客も会場を盛り上げ、7組が合格となるなどレベルの高い大会となりました。



オープニングより。盛大な拍手が会場を包んだ。

いさわ 見て学んで、実践しよう！ 達者の里「いさわ健康フェスティバル」

いさわ健康フェスティバルが11月3日、達者の里で開かれました。健康で安心して暮らすために、施設を活用した健康づくりと医療環境や福祉サービスなどを知ってもらうことを目的に毎年開催されています。

会場では健康講演会や減塩すいとん汁の試食、介護予防運動、運動施設の無料開放などが行われ、健康に関心を持つ多くの人が訪れました。胆沢区の五嶋美代子さん（68）は「しょっぱさがなく甘くておいしい」と試食した感想を話しました。



（左）機器を使用した介護予防運動を体験（右）看護師から正しい靴の履き方を教わる

いさわ きらめく光に寒さ吹き飛ばす イルミナイト2017

イルミナイト2017（NPO法人胆沢文化会館自主事業協会主催）のイベント「エレキd'eナイト&イルミネーション点灯式」が11月18日、胆沢文化創造センターで開催されました。

来場者は、水沢ベンチャーズKNOCK ME OUTによるライブを聴いたり、全員で点灯式のカウントダウンをしたり。色とりどりのイルミネーションが灯されると、ハート型に照らされたベンチに座って写真を撮るなどして、一足早い冬の訪れを楽しみました。



カラフルなイルミネーションをバックに記念の1枚

みずさわ ともに歌いともにつなごう 「奥州市民のうた」歌碑除幕式

市役所本庁前で11月1日、「奥州市民のうた」歌碑銘板の除幕式が行われました。歌碑銘板は水沢東ロータリークラブ（高橋悦彌会長）が同クラブ設立50周年の記念に市へ寄贈したものです。

高橋会長の「この歌が市民に愛され続けるように応援していきたい」との言葉に、小沢昌記市長は「この歌を大切に、歌詞に負けないまちづくりをしたい」と感謝しました。水沢中学校2年生の選抜生徒27人による合唱も披露され、イベントに花を添えました。



水沢中学校生徒たちの歌声がやさしく響き渡る



木原たけしステージショー（左上）、スコップ三味線の演芸（左下）、拍手と笑顔があふれる（右）

まえさわ 演歌と踊りで元気あふれる まえさわ介護センター祭り

まえさわ介護センター祭り（同センター主催）が11月18日、同センターで開催されました。施設利用者を元気づけようで行われたこの祭りには、利用者や家族、地域住民ら約200人が来場。歌手木原たけしさん一行のステージショーのほか、利用者の作品展示、野菜や果物の販売、ケアマネージャーによる介護相談なども行われました。

ステージではスコップ三味線の演芸も披露され、会場は拍手と笑顔に包まれました。



山全体が堅固な要害。その遺構は参加者の興味を湧き立てる

えさし 魅力を伝え歴史資源を守る 岩谷堂城を歩く会

岩谷堂城址顕彰会（荻田耕造会長）と岩谷堂地区振興会共催による岩谷堂城を歩く会が11月4日、江刺区の館山史跡公園で開催されました。城郭研究家「近世こもんじょ館」主宰の工藤利悦氏による解説と、市民提案型協働支援事業補助金により製作した散策ガイドを活用し、2時間あまり周辺を散策しました。

荻田会長は「まだ全てが知り得たものではない。分かりやすい案内表示の工夫などで史跡の魅力を広く伝えていきたい」とさらなる活動に力を込めました。